

2 学年だより

夢の宅配便

2 年学年主任

水野 喜代治

「異常気象」

今日から7月に入ります。夏休みがそこまで来ています。夏は気温が上がるのが当たり前ですが、ここ数日の気温の上昇には閉口します。教室も職員室も冷房を入れているのですが、なかなか、快適な温度に部屋を保つことさえ難しい状態です。一昨日（29日）の小田原の最高気温は38度で観測史上で最高の気温を記録しました。

新型コロナウイルス感染防止の対策で、冷房をしているときも窓を開けています。そのため冷却作用が低下するために、この猛暑を押さえることが難しいです。30度を超える気温の時には、窓を閉めて授業中に教室を適温まで冷却させることが大事だと思います。窓をすべて開けて、廊下のドアも開けて冷房を入れても快適で安全な室温まで下げることができません。授業が終わったら窓を開けて、空気の入替えをすれば良いと思います。この異常気象の対策をしっかりとっていききたいです。

また、体育の時間、部活動の時間などは密の状態ではなくディスタンスをとることができますので、マスクを外して活動するようにしましょう。30度を超える環境でマスクをつけての活動は熱中症を引き起こす可能性が高くなります。『異常気象』と叫ばれているこの状況では、新型コロナ感染防止対策のマスクも考えて外したりする必要があります。熱中症は命を落とす危険もあります。体育や部活などの活動は十分な安全対策をとるようにしてください。



「昨日の夢宅…ごめんなさい」

昨日の4時間目に、転校することになった斉藤栄男君のお別れが開かれました。栄男君は、お別れ会の後にオーストラリアに帰国するために直ぐに羽田空港に向かわなければなりません。そのために給食を食べたら急いで下校する事になっていました。私は、お別れ会のことを書いた最後の学年便りを栄男君に渡したいと思って、給食の時間で学年便りを急いで書きあげました。急いで書いたために、栄男君の字が栄田になってしまいました。栄男君に渡した便りは直したのですが、みんなの便りは直す前のデーターを印刷してしまいました。「先生、栄男の名前が間違っているよ。」と教えてくれた生徒がいたので気がつきました。裏に、誤字を直した便りを載せておきます。同じ便りではつまらないので、写真を変えました。学年目標の下にお別れ会の掲示物を加藤亜星君が貼ってくれました。栄男君の気持ちがみんなの生活の空間にいつもいるようにと……。優しいですね。